

～ともに生き ともに暮ら ともに支え ともに築く～



自分たちの住む地域をもっとよりよいものにしてみませんか!?

ふくしまちづくり推進委員のすすめ



あなたの力を
あなたの願いを
地域福祉の推進に

ふくしまちづくり推進委員とは

地域で安心して、心豊かに暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進する担い手です！

具体的な内容

- ・安心いきいき台帳登録者や地域で心配だと思われる方を訪問し、どのような方が生活しているのか把握する
- ・夜部屋の電灯が点いているか、消えているか、新聞がたまっていないかなど日常生活の変化などをさりげなく見守る
- ・地域の子供たちの見守りを兼ねて、登下校時に声かけをする。
- ・地域での交流会（ふれあいサロン）などを開催する。
- ・安心いきいき台帳に間違っただ情報が載っていないか確認し、自治会長や民生委員と情報を交換する。

★例えばこんな時は気にかけて下さい★



必要と感じたら、自治会長や民生委員、社協などに連絡をし、次に繋げることも役割の一つです。

なぜふくしまちづくり推進委員が必要なのです？

「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けたい」それは住民すべての願いです。

しかし、少子化高齢者の進展、家族機能の低下、地域でのつながりの希薄化などにより、地域社会との交流を絶ってしまっている、持とうとしない、持てない、少ないなどにより寂しさや不安を抱えて孤立した生活をしている高齢者や障がい者の方が多くなっています。

そこで、住民一人ひとりが住み慣れた地域で暮らしていけるように、関係機関と連携し地域に目を向け、困っている人や気になる人をいち早く見つけ対応する、ふくしまちづくり推進員の存在が必要となります。

また、ふくしまちづくり推進委員が活動を行うことによって、民生委員の役割が軽減されることも期待されています。

事例紹介



高富地区で防災の取り組み

「DIG（災害図上訓練）」と「非常食づくり」を実施

- 自治会単位でDIGを実施し、住んでいる地区での危険な場所を図上で確認をおこないました。災害時の食糧が必要であることから、非常食について学びました。事前に地域の情報を把握することにより、防災意識が高まります。「いざという時の備え」となるよう地域の防災力向上を目指し、ふくしまちづくり推進員を中心に、このような訓練をすることも重要となってきます。

富岡地区での取り組み

民生委員、自治会長、ふくしまちづくり推進委員による合同研修会の開催

- 各自治会に分かれ安心いきいき台帳に登録されている方の情報交換や台帳の見直しなどをおこないました。緊急時に円滑に登録者の確認ができるためには日ごろの情報共有が大切になってきます。また、日ごろの見守りにも活用できる情報を知っておくことで活動がスムーズに行うことができます。ふくしまちづくり推進委員や民生委員、自治会長と協力することも重要になります。



実際の声

声をかけて下さるだけで、とてもうれしい！



もし、何かあったときに、頼りになって安心できる。

自分たちの住んでいる地区にふくしまちづくり推進委員を設置したい、

もっと詳しく知りたい等ありましたらご連絡ください！！

社会福祉法人 山県市社会福祉協議会

山県市岩佐 1177 番地 1 美山老人福祉センター内

TEL (0581)52-3010

FAX (0581)52-2941

山県市社会福祉協議会

